



緑陽

財団法人同友会 藤沢湘南台病院
 藤沢訪問看護ステーション
 介護老人保健施設藤沢ケアセンター
 在宅介護支援センター
 藤沢湘南台病院居宅介護支援センター
 健康増進施設 ライフメディカルフィットネス
 発行者 財団法人 同友会
 〒252-0802 藤沢市高倉2345
 TEL 0466-44-1451
 URL : <http://www.fj-shonandai.jp/>
 E-mail: shonandai@mvg.biglobe.ne.jp



財団法人同友会
 理事長 鈴木 紳一郎

明けましておめでとございます。早いもので21世紀を迎えて4年、2005年が始まりました。地域の皆様には佳き年をお迎えになり、お慶び申し上げます。2004年は同友会にとりましても、病院において臨床研修病院の認可を受け、4月より研修医を受け入れ開始。情熱に溢れる若手医師達を得、自分達が逆にエネルギーをもらったり、10月に正式に回復期リハビリテーション病棟（2号館3階）をオープン。また2次救急体制の充実や健診・リハビリテーションの充実を図ったり、12月には全てにレベルアップした上で、年報も初めて作成。企業でいうところのISOの病院版である、病院機能評価の受審、とめまへるしく、また職員にとつても大変厳しい1年であったと思います。しかしながら、病院職員は看護師をはじめ各々が役割をよく考え、一丸となって取り組んでくれましたし、また藤沢ケアセンターやライフメディカルフィットネス、その他の全法人職員が全面的にバックアップしてくれたこと、これにより色々な意味で院内の問題点がクローズアップされたこと

は、これからの法人の将来を考えるならば、非常に重要な1年であったと思います。そんな中で迎えた2005年、急性期病院として今後残っていくためには、国の方針に従い全ての意味で2次の部分を担当することに集中していかなければなりません。簡単に言つと、ちよつとした風邪、ちよつとした腹痛、ちよつとした腰痛など簡単に軽い症状であれば当院を初診せず、診療所での診察を受けていただき、必要なら紹介状をいただいて当院を受診・精査・加療する。病状が落ち着けば診療所でフォローアップしていただく。地域の医療機関全体の中で、地域の方々をシステムティックに診ていくということが必要とされてきます。従つてすでに2004年10月より、紹介状を持参することなく当院を初診されたときに請求される特定療養費を1,050円から3,150円と致しましたし、今後入院期間もより短く（現17日を16日以下に）、また紹介率をもつと上げていく必要が出てまいります。イメージとしては外来は変化のある方、検査の必要な方を専門外来中心に診ていき、当院フォローアップは3

〜6ヶ月ずつ、その間を診療所の先生方に診ていただく。また入院されたらなるべく早く専門的治療をし、早く退院していただけるように致します。また、当院の「いつでも頼れる安心感をモットーに」はどのような心配される方も多数いらっしゃるかもしれませんが、逆に当院にかつたことのある方、地域の方にはいつでも当院にある科はどの科でも受診できる救急システムを構築してまいります。従つて、テレビでも皆様ご存じのER化を推進し、又ドクターもスタッフも外来数が減つた余力を、昼夜問わず、救急医療にあていくこととなり、コメディカルスタッフもさらに充実を図っていく予定であります。この実現には昼間は2次治療の必要な方は誰でも受診でき、治療の方針を明確に振り分けをする総合診療科外来がキーポイントとなります。あわせてこの外来の新設充実をめざしております。2000年7月に新棟が建つてから来年は5年目に入ります。法人内の全事業所が内容を充実させることに職員一同今年も邁進したいと存じます。どうぞ本年度もよろしく御指導お願い申し上げます。

新年のご挨拶

◎ 新年を迎えるに当たって

藤沢湘南台病院 名誉院長 小泉博義

明けましておめでとうございます。

昨年は天から連続台風、地から直下型地震という大災害とサラリーマンの医療費三割負担、老人医療費や年金の見直しなどという人災ともいべきものまで付随した厄年でした。

本来医療の質と安全を確保するために、相応の経費をかけるという施策とは全く逆行する医療保険の混合診療問題などが強行されようとしております。

このような中で、本院は創立72年で大試練を二つ迎えます。

一つは、昨年度受審した病院機能の評価による自己改革の実践です。

二つ目は、昨年指定された医師臨床研修病院としての役割を全うするという事です。今年は、1年次5名、2年次3名合計8名の研修医が集うこととなります。

前者は、外部識者の訪問審査を受け、病院機能を更に高め地域医療への貢献を向上させたいとするものであり、後者は大学のみならず地元でも臨床医を育成したいというものであります。

これらは、皆様からのご支援、ご鞭撻なしには成就できません。

何卒宜しくご協力のほどお願い申し上げます。

財団法人同友会 常務理事 片野栄吉

明けましておめでとうございます。

今年も皆様のご多幸をお祈りいたします。

日本の経済が回復過程にあると言っても、昨年度も国の租税収入が依然厳しく、国の一般財源の多くを国債に依存する状況の中で、医療、年金、福祉に対する政策も大変厳しいものがあります。特に年金制度に関しては、制度自体に欠陥があるともいわれ、国の財政事情と併せ、年金制度の存続が危ぶまれ、大きな話題となっておりますが、それ以上に国民にとって切実な問題は、国民の医療をどのように守って行くかといことでもあります。国民皆保険制度が実施されてから現在まで、現行の医療制度は、国民に等しく、その人に必要な医療を受けることができる大変よい制度であります。

しかしこの医療制度は、経済情勢とは関係なく、人口構造の変化（高齢化）によって医療費は増加し、医学の進歩、医療技術の向上によっても医療費は増加するものであります。

更に医療費の大部分を占める医療サービスは、労働集約的なもので、省力化は患者様に対して医療サービスの低下に繋がりが、サービスの効率化は実質的に困難であります。

一方政府は、医療や介護財源の健全化を図るためとして構造改革を進め、医療費抑制の手段として自由診療と保険診療の併用を認めるいわゆる『混合診療』を実施しようとしております。これが実施されますと保険で適用されない薬剤や処置が増加して、患者様の負担額が多くなる結果となります。

この様に今、医療・福祉施設を取り巻く社会環境は、大きく変化してきておりますが、当法人は、公益に尽くすという法人の設立理念を遵守し、今年も地域の医療、介護施設として、地域の皆様との連携を深め、信頼される医療、福祉施設を目指し努めてまいります。今年も何卒、施設の運営に皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

藤沢湘南台病院 看護部長 小柳敦子

あけましておめでとうございます。

2004年は台風による広範囲の水害や新潟中越地震による大災害・惨忍な殺人事件など、社会的に暗い話題の多かった一年でした。2005年は明るい年になることを期待しております。同友会における2004年は「病院機能評価」受審を目標に、看護の質を整えるため看護基準・手順の見直しや作成、業務改善やシステム構築、環境全般の整備、事故防止やサービス向上のための研修等など、職員全員が一丸となって取り組んだ“超多忙”な年でした。審査も無事終わりあとは結果を待つばかりですが、整備されたことが全体に浸透し、本当の意味の成果が出せるのはこれからの1年にかかってくると考えています。全力で取り組んでくれた職員にこころから感謝しております。

さらに看護部では、機能評価受審への取り組みとともに、同友会看護部のケアの根幹となる看護理論（KOMI理論：ナイチンゲール看護論に基づいて人間の持てる力の活用・回復力を促進する援助の方法を導いた理論）の教育に年間通して重点的に取り組んでまいりました。師長・主任を始め、中堅看護師が院外研修に参加、その伝達研修会を教育委員メンバーが定期的開催し、看護部全スタッフへの理論の浸透を図ってまいりました。その取り組みを受けて今年度は、地域の皆様が当同友会の各施設「藤沢湘南台病院（急性期・回復期・療養）」「在宅・居宅介護支援センター」「藤沢訪問看護ステーション」「藤沢ケアセンター」を効果的に活用していただけますよう、患者・利用者様と職員相互に満足の笑顔あふれる環境に出来ますよう、看護・介護職全員が理論に基づいた個別性のある質のよい継続ケアを目指し努力したいと考えております。

2005年も社会情勢の変化はめまぐるしいことと思いますが、それに振り回されることなく堅実に、目の前の患者様・利用者様おひとりおひとりを大切に、丁寧なケアを目指してまいります。

本年も、地域の皆様のご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。



新年のご挨拶

藤沢湘南台病院 事務部長 角田 高春

新年明けましておめでとうございます。皆様方と新しい年を迎えることができましたことを、お喜び申し上げます。

昨年は新しいものに挑戦して来まして、まさに「光陰矢のごとし」でした。主な取り組みとしましては、平成16年度から始まった新制度における臨床研修医受入準備から始まり病院内整備のための会議・委員会の立ち上げ、救急車搬送時の救急救命士との連携を行うメディカルコントロールの参加、救急救命士気管挿管実習、回復期リハビリテーション開設、第三者評価による病院機能評価受審等です。このように病院の業務内容も多様化する一方、厚生労働省による医療行政もさらに厳しくなってきていますので、人材育成が不可欠なものであると考えています。法人の目標も「全ての職種に対する医療者としての教育、研修の場の確立」が追加・明文化されました。

今年の抱負といたしましては、地域の医療に貢献するための人材育成を行いつつ今日まで培ってきた基盤の上に新たに加わった機能・システムの見直し及び充実を考えています。診療部・看護部・事務部が一丸となって質の高い医療が行えるよう努力したいと思っています。

介護老人保健施設 藤沢ケアセンター 医師 分 部 敏

新年明けましておめでとうございます。昨年、藤沢ケアセンターは創立10周年を迎えました。今年は介護保険の見直しの年でありませんが、在宅ケア支援の施設であることは変わりありません。今後も職員一同が一丸となって、地域のかたがたの介護福祉の一助となるようにがんばります。施設で行っているサービスは、施設入所療養介護と短期入所療養介護（ショートステイ）、通所リハビリテーション（デイケア）です。詳しくは施設担当者にお問い合わせください。また、お気軽に見学にいらしてください。

居宅介護支援センター所長・在宅介護支援センター管理者 星野 素子

あけましておめでとうございます。

居宅介護支援センター及び在宅介護支援センターの管理者をしております星野素子と申します。

昨年はアテネオリンピックでの好成績、イチローの大記録達成など華やかなニュースの一方で、財政危機、洪水や地震などの天災などめまぐるしい1年でした。

皆様におかれましてはいかがでしたでしょうか。

当在宅介護支援センターは国・県市町村の補助事業として平成6年から、居宅介護支援センターは介護保険制度開始に合わせて平成12年に開設いたしました。ご高齢の方やご家族、要支援・要介護状態の方が対象で来所やご自宅へ訪問して介護に関わる総合的なご相談に応じております。

制度上役割の違いはありますが、双方とも「住みなれた地域で1日でも長く暮らせる」ことを目標に看護師、社会福祉士、介護福祉士計5名が介護支援専門員（ケアマネ）の資格も併せ持ち、訪問しながら支援させて頂いております。

平成18年度からは介護保険制度見直しにより、新たに「介護予防」という視点が加わります。要介護状態にならないための取り組みで、地域支援事業の推進、ニーズにあった小規模多機能なサービス事業など多彩なメニューが示されています。しかし、どのように制度が変化しようと「人生の主演は自分」であり、1日1日が充実して過ごされますよう、誠心誠意お手伝いをさせて頂きますので何卒よろしくお願いいたします。

本年も皆様にとってよき年でありますように心よりお祈り申し上げます。

藤沢訪問看護ステーション 主任 中村 敦子

新年あけましておめでとうございます。

当訪問看護ステーションは同友会看護部の理念である心あたたかい看護を基本とし、看護師7名と事務職員1名の計8名で活動しております。

訪問看護は何をしてくれるの？という、ご質問をよくうけます。私たちの仕事は、主治医の先生の指示に基づき、身体状況の観察や、医療機器の管理、また病気を持って在宅で過ごされる方やその御家族の負担や不安を少しでも軽減できるようにお手伝いします。

当ステーションは、常時80～100名の御利用者様が利用しています。御利用者様は、藤沢湘南台病院の主治医ばかりではなく、その他の病院の主治医の場合もご利用が可能です。御希望の方は主治医の先生とよくご相談の上、ケアマネージャーもしくは、当訪問看護ステーションにご相談ください。

ライフメディカルフィットネス マネージャー 黒野 崇

明けましておめでとうございます。

2005年、新しい年が始まりました。本年も宜しくお願い致します。

ライフメディカルフィットネスは藤沢湘南台病院の併設施設として、皆様の「病気になるない健康な身体づくり」「Quality Of Life（人生の質）の向上」を目指し、安全で効果的、そして楽しい運動を提供しております。

「メディカルフィットネス」とは聞き慣れない言葉ですが、一般スポーツクラブとの違いや特徴は以下の通りです。

- ① 医学的検査にもとづく身体状況別、目的別の運動プログラムの提供（100人100通りの運動プログラムを提供します。）が可能。
- ② 医師、管理栄養士、専門トレーナーなどによる定期セミナーの実施。
- ③ クラブ内でスポーツドクターによる医療相談が可能。
- ④ クラブ内で管理栄養士による栄養相談が可能。
- ⑤ 年1回の医学的検査により、健康と運動効果の判定が可能。

私達は今後とも、スポーツ医学にもとづいた最新運動プログラムの提供、そして現代社会において希薄になってしまった昔ながらの人間関係を取り戻す為、地域コミュニティの形成を目指していきます。

外来診療予定表

平成17年 1月現在

科目	月	火	水	木	金	土	
内科 午前	消化器科	富田 所	藤田 石井	高橋 藤田	藤田	所 石井	高橋 富田
	循環器科	川口(梧) 泰磨	森 後藤	武居	川口(梧) 住田	森	武居 川口(梧)
	呼吸器科			天野			
	糖尿病外来 * 予約制	天門	天門	天門			
内科 午後	消化器科	高橋 石井	富田 所	川名	高橋	藤田 田村(博)	
	循環器科	武居	石上	森	森	武居	
	神経科 * 予約制		鳥家	浅見 (第1・3・5週) 佐藤 (第2・4週)			
	在宅包括医療 入所前健診				深野 分部		

糖尿病外来は予約制の専門外来となっております。受診ご希望の患者様は、初めに一般内科を受診して医師にご相談ください。

外科 午前	一般外科	田村	深野 熊切	鈴木院長 田村	鈴木院長 深野	佐々木	鈴木院長 田村
	大腸肛門科		深野	鈴木院長	鈴木院長		鈴木院長
	がん相談 食道疾患 外来				小泉名誉 院長 第3週は休診		
	一般外科	熊切	川本	【手術】	熊切	川本	
外科 午後	呼吸器外科	熊切			熊切		

形外 成科	午後		広富				
-------	----	--	----	--	--	--	--

4月より形成外科は診察曜日と診察室が変更になっておりますのでご注意ください。

泌尿器科	午前	諏訪	諏訪	神座	諏訪	神座	諏訪 又は神座
	午後	【手術】	神座	神座	諏訪	【検査】	
眼科	午前	永野 仙田	日比	堀 永野	日比	堀 永野	堀 永野
	午後	永野	日比	堀	永野 仙田	仙田	
皮膚科	午前	松田	小原	菅	堤	大岡	
	午後	柳町	小原		堤	大岡	
脳外 神経科	午後		数野			竹本	
ペインクリニック * 予約制	午前		新井		新井	宮下	宮下

整形外科	午前	齊藤副院長 大沢	福田 太田 川口(行)	齊藤副院長	大沢 太田 川口(行)	福田 太田	齊藤副院長 大沢 川口(行) (第1・3・5週) 太田 (第2・4週)
	午後 * 予約制	【手術】	【手術】	大沢	【手術】	太田 川口(行)	

整形外科の午後診療は専門外来となっております。予約または救急のみの受付となりますので、ご了承ください。

健康スポンジ部	* 初予約も制	午前			高尾	高尾	
		午後	齊藤副院長 高尾	齊藤副院長 高尾	高尾 (第4・5週) 福田	齊藤副院長 福田	

一 受付時間

月曜日～金曜日 午前 8:30～11:00 (診療開始 9:00)

午後 12:00～3:00 (診療開始 1:30)

土曜日 午前 8:30～12:00 (診療開始 9:00)

* 土曜日午後、日曜、祭日、年末年始は休診です。

シャトルバス時刻表

平成17年 1月現在

	上土棚団地行				藤沢湘南台病院行				
	藤沢湘南台病院発	長後駅西口着	蓮光寺着	綾南会館前着	綾南会館前発	蓮光寺発	長後駅西口発	藤沢湘南台病院着	
8	15	22	27	30	8	30	32	37	44
9	45	52	57		9				
10				00	10	00	02	07	14
11					11				
12	15	22	27	30	12	30	32	37	44
13	45	52	57		13				
14				00	14	00	02	07	14

	上飯田・いちよう団地行				藤沢湘南台病院行				
	藤沢湘南台病院発	児童公園前着	いちよう団地着	集会場前着	集会場前発	いちよう団地発	児童公園前発	藤沢湘南台病院着	
7					7	45	48	52	56
8					8				
9	00	04	08	12	9	12	15	19	23
10					10				
11	30	34	38	42	11	42	45	49	53
12					12				
13	00	04	08	12	13	12	15	19	23
14	30	34	38	42	14				

同友会ニュース

年末年始の外来診療のお知らせ

12/29 (水)	12/30 (木)	12/31 (金)	1/1 (土)	1/2 (日)	1/3 (月)	1/4 (火)
通常通り	休診	休診	休診	休診	休診	通常通り

休み期間中、救急の患者様の診察は当番・当直医師が対応させていただきます。担当医が患者様の病状に対して専門外になる場合がございますので、ご来院の前に必ずお電話にてお問い合わせください。

LIFE 年末年始営業日のお知らせ

12/29 (水)	12/30 (木)	12/31 (金)	1/1 (土)	1/2 (日)	1/3 (月)	1/4 (火)	1/5 (水)
休業	休業	休業	休業	休業	11:00～19:00	11:00～19:00	11:00～19:00

* 1月3日から5日は登録種別に関わらず、全ての方が通常料金でご利用になれます。

* 1/6(木)より通常営業となります。

編集後記

「災」が2004年の世相を現す漢字でした。2005年は明るい漢字が世相を現す字として発表されることを期待します。